



2016年2月29日

プレスリリース

シリコン・ラボラトリーズ、Wireless GeckoSoC ポートフォリオの新製品「EFR32BG Blue Gecko」ファミリを発表
スケーラブルな Blue Gecko SoC ファミリが、Bluetooth®認証済みの最終製品向けに業界最高水準の送信電力を
実現

シリコン・ラボラトリーズ (本社: 米テキサス州オースチン、Nasdaq: SLAB、以下: シリコン・ラボ) は、選択肢の多い価格・性能オプションと、最大+19.5 dBm の出力電力を持つ Blue Gecko Wireless SoC ポートフォリオの新製品「EFR32BG Blue Gecko」ファミリを発表しました。シリコン・ラボが本日発表した、マルチプロトコル Wireless Gecko ポートフォリオのひとつである EFR32BG Blue Gecko SoC ファミリは、Bluetooth® Smart 市場で利用可能な最高の出力電力の提供をはじめ、Bluetooth Smart アプリケーションのスケーラビリティ、エネルギー効率、セキュリティ、設計のシンプルさに新たな基準を打ち立てます。Blue Gecko SoC は、クラス最高の開発ツールおよびソフトウェアによってサポートされ、コネクテッド・ホーム、ウェアラブル、リモート・コントロール、ベビー・モニタ、ビーコン、電子棚札、ヘルスケア/フィットネス・デバイス、店頭設備など、数々のアプリケーションに Bluetooth Smart を追加するコストと複雑さを削減します。

EFR32BG Blue Gecko SoC は、5 mm x 5 mm QFN32 および 7 mm x 7 mm QFN48 パッケージで提供されます。エンジニアリング・サンプルは現在出荷中で、量産出荷開始は 2016 年第 2 四半期を予定しています。開発キットの SLWSTK6020A Blue Gecko Starter Kit は現在出荷中です。Blue Gecko SoC 及び開発キットの価格、納期に関しては、シリコン・ラボ国内販売代理店までお問合せください。Wireless Gecko SoC の詳細、開発キット、データシートについては、www.silabs.com/WirelessGecko をご覧ください。

新しい Blue Gecko SoC は、シリコン・ラボの Blue Gecko ポートフォリオを完成させるもので、Bluetooth Smart 4.2 対応の開発に使用可能な、包括的かつ柔軟なハードウェア/ソフトウェア/ソリューションです。Blue Gecko ポートフォリオには、ワイヤレス SoC に加えて事前認定済みのワイヤレス・モジュール、シリコン・ラボの Bluetooth Smart ソフトウェア・スタックとソフトウェア開発キット (SDK) が含まれます。部品表 (BOM) や研究開発コストを最適化したいお客様は、迅速な市場投入が可能で、シンプルに設計でき、動作認証に関連するコストと労力を最小限に抑えた Blue Gecko モジュールで設計を開始し、その後コスト効率の高い Blue Gecko SoC ベースの設計に移行できます。この移行の際、システムの再設計は最小限ですみ、ソフトウェアを完全に再利用できます。

Blue Gecko SoC は、-94 dBm の優れた感度と Bluetooth 市場で利用可能な最高出力電力を提供します。出力電力は -30 dBm から最大 +19.5 dBm で、これは Bluetooth 認証の最終製品に許可された業界最大レベルの送信電力です。この SoC は、このような市場をリードするワイヤレス性能を実現しながら、出力電力を選択しても Bluetooth Smart 製品が最適なバッテリー駆動時間を提供できるようにするバランおよびソフトウェア・プログラマブルなパワーアンプ (PA) を統合することによって、設計の複雑さ、BOM コスト、ボード面積を削減します。

シリコン・ラボで、IoT 製品のマーケティング担当バイス・プレジデントを務める Daniel Cooley は、次のようにコメントしています。「Blue Gecko SoC は、RF 性能、エネルギー効率、クラス最高のワイヤレス SDK によって実現されるセキュリティと設計のシンプルさ、ソフトウェア・スタック、およびグローバルなカスタマ・サポートの比類なき組み合わせを提供することによって、Bluetooth Smart 市場のためのよりスマートな選択を提供します。Blue Gecko ポートフォリオは、一般的なソフトウェア・アーキテクチャを活用しているので、お客様は、ボリュームや製品要件の変更に応じて簡単にモジュールから SoC に移行できます。異なる Wireless Gecko SoC 製品間でのコードのポータビリティおよびユーザビリティも提供します。」

Blue Gecko SoC 製品の特徴

- Gecko MCU テクノロジと 2.4 GHz RF トランシーバを組み合わせたシングルダイの SoC
- Bluetooth Smart および独自の 2.4 GHz プロトコルのマルチプロトコル・サポート
- 入手可能な製品の中で最もエネルギー効率の高い Bluetooth Smart SoC。消費電力は、受信モードでピーク時 8.7 mA、送信モードでピーク時 8.8 mA@0 dBm
- 強力な浮動小数点機能と DSP 機能を備えた 40 MHz ARM[®] Cortex[®]-M4 プロセッサ
- エネルギー消費の少ない Gecko MCU のアクティブ・モードでの消費電力は 63 μ A/MHz
- ハードウェア暗号化アクセラレータが統合されており、最小限の CPU 介入で、高速かつ優れたエネルギー効率で自律的にインターネット・セキュリティ・プロトコルを暗号化/復号化
- 128 または 256 ビット・キーの AES、楕円曲線暗号 (ECC)、SHA-1 および SHA-224/256 などの高度なアルゴリズムをサポート
- 柔軟な価格/性能オプションが用意されており、用途に応じて出力電力、2 種類のパッケージ構成 (QFN32、QFN48)、およびメモリ・サイズ (128~256 kB フラッシュ、16~32 kB RAM) を選択可能

大手 IoT システム・インテグレータの Mobilogix 社で、プレジデント兼 CEO を務める James Jefferies 氏は、次のようにコメントしています。「シリコン・ラボの Blue Gecko SoC は、Mobilogix にとって BOM コスト目標やその他の要件を満たしつつ、設計仕様以上の高性能、機能豊富なデバイスを構築するための理想的な Bluetooth プラットフォームです。Blue Gecko SoC をベースとする当社のビーコン製品は、ワイヤレスの性能、感度、範囲において世界のお客さまが求め、期待する体験を提供します。私たちがシリコン・ラボの Blue Gecko を選択した理由は、シリコン・ラボの包括的な Bluetooth Smart エコシステムです。事前認証済みのモジュール・オプションや、使いやすい開発ツールが含まれており、ワイヤレス設計が飛躍的に効率的になります。」

Blue Gecko SoC ファミリは、MCU と RF を同時に設計できる統合開発環境を提供する、シリコン・ラボの Simplicity Studio[™] 開発プラットフォームによってサポートされています。Simplicity Studio ツールには、開発者がワイヤレス構成を簡素化できるようにする AppBuilder、全てのワイヤレス・ネットワーク・アクティビティを完全に可視化する Desktop Network Analyzer、開発者がエネルギー消費を最適化してバッテリー駆動時間を長くできる Energy Profiler が含まれます。シリコン・ラボの BGScript[™] スクリプト言語により、Bluetooth Smart の開発を更に簡素化できます。なじみのある BASIC に似た BGScript 構文により、開発者はアプリケーション・ロジックを実行するための外部 MCU を必要とせずに Bluetooth アプリケーションを迅速に作成できます。

シリコン・ラボラトリーズについて

シリコン・ラボラトリーズ (略称: シリコン・ラボ、NASDAQ: SLAB、本社: 米テキサス州オースチン、www.silabs.com)

シリコン・ラボラトリーズ、Wireless GeckoSoC ポートフォリオの新製品「EFR32BG Blue Gecko」ファミリーを発表

は、IoT(モノのインターネット)、インターネット基盤、産業オートメーション、民生及び自動車市場向けにシリコン、ソフトウェア、及びシステム・ソリューションを提供する業界大手メーカーです。シリコン・ラボは、エレクトロニクス産業の困難な課題を解決し、性能、省エネルギー、コネクティビティ、設計の簡素化の面で大きなメリットをお客さまにご提供します。ソフトウェア及びミックスドシグナル設計の分野で、卓越した技術力を有する世界クラスのエンジニアリング部門を擁することで、シリコン・ラボは製品開発に携わる皆さまに、初期構想から最終製品に至るまでのプロセス改善に必要なツールをご提供します。会社概要・事業内容の詳細は www.silabs.com をご覧ください。

ご注意

このプレスリリースには、シリコン・ラボラトリーズ社の現時点における期待に基づく予測が含まれていることがあります。このような発言にはリスクと不確実性が伴います。様々な重要な要素が原因となって、予測とは異なる結果になることもあります。シリコン・ラボラトリーズ社では、投資家の方々に社の将来性をお伝えすることが重要と考えますが、正確な予測や管理が不可能な事態が今後発生するかもしれません。シリコン・ラボラトリーズ社の財務成績に影響を与え、実績が将来的記述と著しく異なる場合の要因の詳細については、シリコン・ラボラトリーズ社が米国証券取引委員会(SEC)へ最近提出した書類をご覧ください。

Silicon Laboratories, Silicon Labs, S ロゴ, Silicon Laboratories ロゴ, Silicon Labs ロゴは、Silicon Laboratories Inc.の商標です。その他の登録商標・商標は、それぞれの所有者にその権利が帰属します。

###

報道関係者お問合せ先

シリコン・ラボラトリーズ Dale Weisman (グローバル広報マネージャ)

TEL: (米国)1-512-532-5871 E メール: dale.weisman@silabs.com

公式 Twitter アカウント <http://twitter.com/silabs> 公式 Facebook アカウント <http://facebook.com/siliconlabs>

シリコン・ラボ製品紹介サイト www.silabs.com/parametric-search

ミアキス・アソシエイツ 河西 E メール: kasai@miacis.com

記事ご掲載時のお問合せ先

シリコン・ラボラトリーズ Y.K. TEL: 03-5460-2411(代表)

<http://jp.silabs.com>

以上